

(3)教育・子育て 令和6年2月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
子育てセンターについて	枚方市では、保育園内や、再利用された施設等しかない上に、いまだに予約制、人数制限、時間も午前午後にかけてそれぞれ2時間程度しか行けません。他の自治体の子育て支援を知っていたら、枚方市にも取り入れていただきたいです。	本市では、保育所機能との連携やお住まいの地域からの参加のしやすさを踏まえ、各地域に子育て支援拠点を設置することを基本として、子育て支援の充実を図ってきており、現在、13の地域子育て支援拠点で、親子で遊べる広場の開放や参加できるイベント、子育て講座、子育てサークルの支援等に取り組んでいるところです。 これらの事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予約制および定員を設定しておりましたが、今後は、国の取扱いも踏まえ、設定緩和に取り組んでまいります。 限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ですが、ご意見いただいた施設整備や緩和措置といった内容につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2023/3/7	2023/4/4	私立保育幼稚園課
枚方市スクエアについて	月1回の土曜日の学童保育を毎週して頂くことはできないのでしょうか。	本市教育委員会では、全ての児童を対象に、令和5年度から全小学校で実施する「総合型放課後事業」として、「留守家庭児童会室」と「放課後オープンスクエア」を選択できる環境の整備を行ってきたところです。 しかしながら、土曜日も平日と同じように働かれている皆様にとって、まだ十分に満足できる事業にはなっていないとのご指摘は、本事業をより良いものしていくための課題であると認識しております。 今後は、放課後オープンスクエアの開室時間も含め、効果検証を行うことで課題を明らかにし、事業のあり方を踏まえた検討を行ってまいります。	2023/4/8	2023/5/8	放課後子ども課
オープンスクエアについて	放課後、小学校で遊ぶのに、登録しないと遊べない、保険料を支払わなければならないのはいかがなものでしょうか。自由に皆が利用できるように解放したらどうですか。	放課後オープンスクエアは、子ども達の自主性を尊重し、学校敷地の中に、放課後の遊びや様々な体験ができる環境づくりとして、令和5年4月より開始いたしました。 そこでは、子ども達は自分で考えて自由に遊んだり、学んだりすることができ、いつ、どのように参加するか子ども達の自由です。しかしながら、緊急時の連絡先の確認等が必要であることから、保護者の皆さまにご利用登録をお願いしているところです。 また、安全については十分に配慮しておりますが、遊びの中でケガをすることも考えられ、安全にご利用いただくため、万が一に備えた傷害保険等の実費負担として、1児童あたり1,000円(年間)をご負担いただいております。 全ての児童が放課後を安全・安心に過ごせる居場所づくりに、ご理解とご協力をお願いいたします。	2023/4/13	2023/5/2	放課後子ども課
保育士の職場環境についてのお考えについて	より良い保育園は、先生にとっても働きやすい環境であるべきだと考えますが、現在の保育士の職場環境についてどのようにお考えでしょうか。 また、環境改善が必要だとお考えでしたら、具体的にどのような施策が必要とお考えでしょうか。	私立保育所等における職員の職場環境については、運営事業者の責任において取り扱われるものですが、本市においても、保育士不足の現状に対応するため、雇用の促進と継続につながる処遇改善が必要と考えております。 そのため、市の独自施策として、私立保育所等で勤務している正規職員の保育士等に対し、月額1万円(年額12万円)の補助を行っております。また、運営事業者において、保育補助者や保育支援者を配置し、保育士の補助や保育士の周辺業務である遊具等の消毒・清掃等を行い、保育士の負担軽減を図った場合には、「国の保育人材確保事業」を活用した補助を行っております。 ご意見がありましたとおり、より良い保育園は、保育士にとっても働きやすい環境であるものだと考えます。今後も、運営事業者と連携し、より良い職場環境の整備に取り組んでまいります。	2023/4/26	2023/5/22	私立保育幼稚園課
「ともに学びともに育つ」、インクルーシブな社会となるために障害の社会モデルの考え方を広めていくことについて	枚方市の「ともに学びともに育つ」には、障害への理解が大変重要だと考えます。他市と東京大学大学院教育学研究科が、「教育・研究交流連携事業に関する協定」を令和4年に結び、インクルーシブ社会の実現の大きな促進が期待されていると知りました。枚方市も東京大学大学院教育学研究科と「教育・研究交流連携事業に関する協定」を結ぶのはいかがでしょうか？	他市の取り組み事例をご紹介いただきありがとうございます。 吹田市と東京大学大学院教育学研究科との「教育・研究交流連携事業に関する協定」は、障害の社会モデルについての授業実践のみならず、インクルーシブな社会の実現に向けて効果が期待できる取り組みであると考えております。 今後、市内の学校だけでなく、枚方市全体をインクルーシブな社会にできるよう、ご提案いただいた他市の事例なども参考にしながら、取り組みを進めてまいります。	2023/5/22	2023/6/5	児童生徒支援課
子育て支援について	現在、娘が子ども2人を育てていますが、2人を連れて外出した際にとっても不便を感じています。駅のエレベーターは端っこに追いやられ、トイレも子ども用トイレ(保育園にあるような子どもが自分で用をたせるトイレ)はピオルネの4階にしかなく、ベビーカーを押していると、とてもじゃないですが間に合いません。また、ベビーカーでは入れないトイレすらあります。 公共の施設や駅前のメインとなるような施設には、ぜひ子ども連れに優しい街づくりをしていただき、全国に枚方は子育てしやすい街だとアピールできるのではないかと思います。	本市におきましては、「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、さまざまな子ども子育てニーズに対応した施策を推進するとともに、公共施設においては、子育て家庭に配慮した設備の整備に取り組むこととしております。 現在、枚方市駅東側で建設中の複合ビル内では、妊産婦や子ども、子育て世帯へ相談支援等を行う「こども家庭センター」のほか、図書館や市民窓口など行政サービス等の機能を集約した行政サービスエリアの開設を進めているところです。 令和6年度に開設するこのエリアには、小さなお子様と一緒に利用することのできる便器の設置や、ベビーカーでも入ることのできるスペースを確保した「親子トイレ」の設置を予定しております。複合ビルが開設されました際には、ご家族でぜひご利用ください。 今後におきましても、子育て家庭を含むすべての市民にとって暮らしやすく、健康で元気に楽しく過ごせるまちづくりを目指すとともに、子育て世帯の皆さまのお声に耳を傾けてまいります。	2023/6/14	2023/7/6	子ども青少年政策課 市駅周辺まち活性化部

(3)教育・子育て 令和6年2月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
子育ての支援について他市との比較について	枚方市の子育てに対する支援が他の市に比べて手厚くないことに憤りを感じます。	<p>他市において様々な子育て施策が行われていることは存じております。本市におきましても子育て世帯を対象とした様々な施策を展開しており、その一例といたしまして、就学前児童施設において所得や年齢の制限を設けず、第2子以降の保育料や給食費を全て無償としております。また、公立保育所におけるオムツのサブスク(定額利用)の導入や、在宅での子育てに疲れたときに無料で利用して頂くことのできる一時預かり・リフレッシュ券の導入など、様々な施策を展開しております。</p> <p>さらに、「留守家庭児童会室」と新たに放課後にすべての児童が自主的で自由に遊べる場として学校の一部を開放する「放課後オープンスクエア」を一体的に運営することで、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごせる居場所の提供と、保護者等のニーズに応じて両事業を選択できるような環境の改善に取り組んでいます。</p> <p>今後も、給食費を含めた子育てにおける経済的な負担の軽減や子ども達がイキイキと育ち、保護者の皆さんが安心して楽しく子育てができる環境づくりや魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。</p>	2023/6/2	2023/8/4	子ども青少年政策課 放課後子ども課
枚方市立小学校のプール委託とボランティアで実施している水難学習について	枚方市の小学校、プール授業をスイミングスクールに委託していますが、本当にそれで良いのでしょうか。泳力も大事ですが、水の事故からの命の守り方も大事だと思います。予算だけでなく、子供達にとって本当に学校のプールは必要ないのでしょうか。	<p>本市では、児童の泳力向上と水泳授業に係る業務の改善や、学校プールの維持管理等に係る費用の縮減につなげるため、市立小学校の水泳授業における民間活用に、取り組んでおります。令和4年度から市立小学校の水泳授業における民間活力の活用事業に取り組んでおり、令和5年度は、10校の水泳授業を民間プール施設で行っているところです。</p> <p>授業を行う民間プール施設は、当該校から10分程度で移動できることを標準として選定しているほか、授業は、2時間連続を1回として全部で5回行っており、施設への移動や更衣等にかかる時間を除いた1回当たりの入水時間を50～60分程度確保するとともに、他の授業への影響がないよう配慮しております。</p> <p>民間施設での授業は、学校が学年ごとの泳力到達目標を設定し、事業者がこれに応じて組んだカリキュラムに従って指導を行っていただくものです。その中には、学校での授業同様、水難から命を守るための指導も組み込まれており、一部の施設では、着衣泳や「浮いて待つ」ことを教える等のメニューも行われております。</p> <p>ご意見にもありましたように、水泳授業を通じて泳力を身に着けるだけでなく、水の事故からの命の守り方を学ぶことも、子ども達には大変重要であると考えております。</p> <p>今後も、子ども達にとって安全につながる学びの提供に向けて、民間事業者と連携を図り、子ども達に質の高い学びを提供できるよう取り組みを進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	2023/6/27	2023/8/1	教育政策課
一時保育について	市の一時保育が機能を果たしていません。リフレッシュ無料のためかどこも満席です。土曜日はどこもやっていないのでしょうか。是非、早急に一時保育の改善をお願いします。	<p>本市では、市内14か所の私立保育園等で、お子様を一時的にお預かりする一時預かり保育を実施し、就労等の場合やリフレッシュ目的でご利用いただくことにより、保護者の皆様の負担を軽減できるよう取り組んでいるところです。本事業は、月曜日から土曜日が利用対象となりますが、各実施園にて体制を確保していることから、利用を希望される日時によっては受け入れができない場合があります。具体的な利用希望については、各施設にお問い合わせいただいております。</p> <p>子育て支援を推進するにあたっては、保育士の確保は喫緊の課題であり、保育士不足の改善に向けた取り組みを進めるとともに、市民の皆さまからのお声を聞きながら、保護者の皆さんが安心して子育てができる環境づくりを進めてまいります。</p>	2023/7/10	2023/8/3	私立保育幼稚園課
熱中症対策について	小学校に通っています。登下校や、体育の授業は外の温度が32℃以上あるときは、屋外の運動は極めて危険、今すぐ中止をと防災速報などにでているのに、学校ではそういった授業をして、帰日も暑くて熱中症になりました。外で友達と遊びたいし、体育も大好きだけどみんな熱中症になってしまいます。対策をお願いします。	<p>枚方市教育委員会では、小学校・中学校に向けて、学校に置いている暑さ指数(WGBT)を計測する装置を確認して、その数値に合わせて熱中症対策をするように伝えております。例えば、「WGBT25～28℃の時は、たくさん水分を取り、激しい運動をする時には30分おきくらいに休憩をとる。」「WGBT28～31℃の時は、激しい運動は中止。10～20分おきに休憩をとり、水分を取る。」などの対策です。</p> <p>教職員はこまめに暑さ指数がわかる装置と対策の表を見て、熱中症にならないよう対応しております。もし、暑くて体調が悪くなったり、不安を感じたりしたら、すぐに先生に申し出てください。</p>	2023/7/18	2023/8/14	教育指導課
長期休暇中の留守家庭児童会の給食について	小学校で夏休み等の長期休暇中は、留守家庭児童会で昼食を食べる場合、お弁当等を子供に持たせる必要があります。共働きで毎朝お弁当を用意する事は負担が大きいため、市で給食や弁当の提供をしてはいただけませんか。	<p>留守家庭児童会室の昼食の提供については、保護者会等から「有料昼食サービスの導入」などのご要望をいただいております。本市としても保護者の皆様からのニーズが高いことは認識しております。</p> <p>導入にあたりましては、衛生面やアレルギー対応のほか、注文や集金等の諸課題を整理する必要があり、現時点では実施に至っておりません。しかしながら、他市の先行事例を参考にするなど、実施可能なサービスの検討に努めてまいります。</p>	2023/8/2	2023/8/22	放課後子ども課

(3)教育・子育て 令和6年2月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
保育園の看護師について	共働き世代が増え、子どもを取り巻く環境は時代の流れと共に変化し、保育園が担う役割は昔と少しずつ変わってきているのではないかと感じます。 枚方市の強みを持つべく、全ての保育所に看護師を常駐させ、子どもの健康を守り、保育士は保育に集中できるよう業務の整理、また看護師の能力向上を目指す。そうすることで、子どもを育てるだけでなく、子どもが自ら育つ。その結果、「子どもが健やかなる成長を遂げるための環境づくり」になるのではと思います。	本市では、すべての公立保育所、小規模保育施設、臨時保育室、公立幼稚園に看護師を配置するとともに、私立保育園についても44施設のうち37施設において、常勤又は非常勤の看護師を配置していただいております。 保育施設における看護師の役割は大きく、本市としましては、子どもの良質な保育・教育環境を整備するため、全園での看護師の配置を進めていきたいと考えているところです。 そのため、市独自の処遇改善を実施し、看護師の確保と離職の防止に努めるとともに、「保育士等就職支援センター」において、『保育所等で就職を希望する保育士・看護師の有資格者』と『人材を求める施設』とのマッチングを行う事業なども実施しております。 いただいたご意見も参考に、看護学校等への求人活動など様々な手法を用いて人材の確保に努めてまいります。	2023/8/25	2023/9/8	公立保育幼稚園課 私立保育幼稚園課
医療ケア児の支援について	医療ケア児が今置かれている現状とこれからについて、枚方市がどう思われているのか、次の点を踏まえてお聞きしたい。 ・「保育所における看護師配置の見直しについて」 ・「入所可、不可の保護者への知らせ」 ・「枚方市としての子ども発達支援センターの役割と活用について」	本市では、障害のある、なしに関わらず、未来を担うすべての子どもたちが健やかに成長できることを目指し、「枚方市保育所(園)等における医療的ケアが必要な子どもの受入れに関するガイドライン」に基づき、医療的ケアが必要な子どもたちに対しても、他の子どもたちと等しく保育を受けられるよう取り組んでいるところです。 令和4年8月に「枚方市保育所(園)等における医療的ケアが必要な子どもの受入れに関するガイドライン」を新たに策定し、医療的ケアが必要な園児については、通常の利用調整とは別に入所枠を設け、率先して受入れるなどの本市独自の取り組みを行っております。 看護師等が確保できず、入所は決定しているものの職員が配置されるまでは自宅待機となる「加配待ち内定」となった方については、1日も早くご連絡できるよう努めておりますが、こうした看護師等の確保については、喫緊の課題であると認識しており、今後も様々な手法により職員の確保に努めてまいります。 また、市立ひらかた子ども発達支援センターでは、就学前の障害児や発達上支援が必要な子ども達に対し、日常生活での基本的な動作や知識・技術、また集団生活に適應できるよう専門的な療育を提供する通所支援(なのはな・すぎの木)等を行っておりますが、医療的ケアが必要な児童を含む肢体不自由児については、児童の心身の発達を促すとともに、育児支援・家庭支援にも繋がる親子通所を基本としています。 また、本センターは、児童福祉法に基づき、適正な運営を確保するために必要な人員の配置や施設基準が定められており、現行の人員体制と限られた施設の広さの中で、医療的配慮が必要な児童の預かりを、別に行うことは困難と考えております。 なお、医療的ケア児やその家族が抱える悩みに関しては、本センターで実施しております相談支援事業において相談者に寄り添った支援も行ってまいります。 今後も、様々な思いを抱えながら育児をされている保護者の皆様のお声に耳を傾け、すべての子どもたちがいきいきと育ち、保護者の皆様が安心して楽しく子育てができる環境づくりを進めてまいります。	2023/8/17	2023/10/19	公立保育幼稚園課 保育幼稚園入園課 ひらかた子ども発達支援センター
病児保育の拡充について	日頃病児保育を利用して頂いており、周りに頼れる親族がいない家族にとって、本当にありがたい制度・施設だと感じております。 ただ、いつも空きが殆どなく、且つ普通の風邪でないとい入室出来ないという状態が続いております。どうかもう少し病児保育の体制を拡充して頂けないでしょうか。	本市では、公立1か所、私立3か所の計4か所の病児保育室を開設しており、発熱等の病気によって、保育施設等で集団保育できない子どもの受け入れを行っているところです。 病児保育室の利用は、申込順で受け入れをご案内しており、感染症の流行状況によっては、入室していただけない場合もございます。インフルエンザや感染性胃腸炎を罹患された場合もご利用は可能ですが、病児保育を継続的に実施するためにも、特に感染対策が必要となることから、専用施設の空き状況や他の利用者の状況に応じて入室をお断りすることがございます。 いただいたご意見も参考に、就労と子育てとを両立されている保護者の皆様が安心して子育てできる環境づくりに取り組んでまいります。	2023/9/12	2023/10/6	公立保育幼稚園課 私立保育幼稚園課
一時保育の第二子以降の利用料について	枚方市は第二子以降保育料無料化されましたが、保育所に入れない子どもの一時保育利用料が一日2000円で、これではパートをしてても、手取りが半分近くなくなってしまうことになり、困っています。就労の場合は第二子以降の一時保育の無料化もしくは格安にしてください。	仕事復帰のため求職活動をされているなか、大変ご不便をおかけしております。 本市では、一時預かりの利用について、リフレッシュなどで日単位で利用される場合、年齢と預かり時間によって1日2,000円からの利用料となり、保護者の週2～3日の短時間の就労で利用される場合は1か月15,000円からの利用料となります。 利用される保護者の皆さまには、勤務条件に合わせて、月単位の利用または保育施設への入所をご検討いただくように取り組んでいるところです。 日単位利用の第二子以降無償化につきましては、保育施設がまずは就労支援を目的としたものであり、また就労要件を満たす方に利用いただいている臨時保育室や就労応援型預かり保育の負担との整合を考慮しつつ、運用を検討してまいりたいと考えております。 いただいたご意見を参考に、今後も保護者の皆さまが安心して子育てできる環境づくりに取り組んでまいります。	2023/10/4	2023/11/1	私立保育幼稚園課

(3)教育・子育て 令和6年2月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
留守家庭児童会のお弁当について	<p>枚方市の留守家庭児童会では、長期休暇中のお弁当の持参が必須になっています。しかし、長期に渡る負担となる為、仕事を辞める方も多くいます。</p> <p>また、お弁当は作る時間がないことからコンビニのパンやおにぎりを持参する方も多いと聞きますし、子供の栄養面での偏りも心配されます。</p> <p>ぜひ早急に、長期休暇中の給食またはお弁当を用意できるような政策を考えて頂きたいと思っております。</p>	<p>小学校の長期休暇中の留守家庭児童会室における昼食の提供につきましては、これまでから保護者会等から「有料昼食サービスの導入」などのご要望をいただいております。ニーズが高いことは認識しております。</p> <p>実施にあたりましては、衛生面やアレルギー対応のほか、注文や集金等の諸課題を整理する必要があると考えております。</p> <p>本市としましては、留守家庭児童会室が就学後の子育て支援施策として、保護者の皆様に寄り添った事業となるよう、三季休業期の昼食サービスを含めた運営面の充実を図っていく考えであり、今後も実施可能なサービスの検討に努めてまいります。</p>	2023/12/16	2024/1/4	放課後子ども課
成人式の場所について	<p>いつからか枚方市内でも各地域毎に分けられて成人式を行う様になったと知りました。</p> <p>式典の規模や人数の事を考えると各中学でと考えるのも理解できますが、枚方市内での場所の選択制など行きたくも行けないと選択せざるを得ない市民のことも考えて欲しいと思っておりました。</p>	<p>本市では、20歳を迎えられるにあたっての自覚を促すとともに、地域で新たな門出を祝福するため、平成18年度から市立中学校19校を会場とする地域分散方式にて枚方市「はたちのつどい」を開催しているところです。</p> <p>12月初旬にハガキにてご案内する会場につきましては、12月1日時点で住民登録されている中学校校区となりますが、他の会場へ参加いただくことも可能です。</p> <p>会場変更につきましては、案内状の両面に記載するとともに、本市ホームページにも掲載しておりますが、よりわかりやすいご案内となるよう努めてまいります。</p> <p>人生の節目となる枚方市「はたちのつどい」が充実したものとなるよう、今後も取り組みを進めてまいります。</p>	2024/1/8	2024/1/25	教育政策課
保育園利用調整指数におけるきょうだい入所の場合の加点数増を求めますについて	<p>子育て支援策には、「保育施設へ送迎時の負担軽減、きょうだいと同じ保育施設に入ることによる送迎時の負担軽減」とありましたが、現在の保育園入園の調整指数表では、「兄弟姉妹が同一の保育所等の利用を希望する場合、兄弟姉妹が在籍している保育所(園)等の利用を希望する場合」の加点は15点です。</p> <p>きょうだいの入所の調整点を増やす、1歳入所、年度途中の入所をしやすいするため枠を増やす、など具体的な施策は考えられているのでしょうか。</p>	<p>本市におきましては、きょうだいを同じ保育所(園)に通わせたいのご希望に少しでも寄り添えるよう条件整備を行い、保育を必要とされるご家庭が施設を利用できるよう取り組みを進めているところです。</p> <p>保育所(園)の利用調整については、従来から兄弟姉妹が同じ保育施設を利用しやすいよう調整指数で加点を行うとともに、同点の場合にも優先的な取り扱いを行ってまいりましたが、この度、市民の皆様のご意見を反映し、令和6年度の利用調整から「兄弟姉妹が在籍している保育所(園)等の利用を希望する場合」は、調整指数を10点から15点に拡充したところです。</p> <p>これにより、就労事由における1区分の点数差を上回る加点となり、きょうだいが入所されているご家庭には、さらにご利用いただきやすくなっています。</p> <p>しかしながら、部屋の広さや保育士の配置などの各施設の状況により、施設によって入所しやすいタイミングは異なります。また、年度途中の入所状況についても施設の事情によって異なることから、4月当初には各施設の年度途中の入所予定人数等を公表し、保育を必要とされる皆様への情報発信にも努めております。</p> <p>保育所の利用に関するご相談は、来庁またはビデオ通話でもお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。</p> <p>今後も、様々な思いを抱えながら育児をされている保護者の皆様のお声に耳を傾け、すべての子ども達がいきいきと育ち、保護者の皆様安心して楽しく子育てができる環境づくりを進めてまいります。</p>	2024/1/6	2024/2/2	保育幼稚園入園課
小学校施設整備ならびに給食について	<p>共働き家庭が専業主婦を上回り、親が働いている家庭が多いと思っております。しかし、学童設備については校庭におけるプレハブのような施設です。経過場所の整備を検討してください。</p> <p>コロナもおちついてきましたが、なぜ小学校の給食は黙食かつ一人で食べる状態がつづいているのでしょうか。</p>	<p>本市では、子ども達の健やかな成長と自立を促すため、留守家庭児童会室をはじめとした安全・安心な放課後の居場所づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>一方で、留守家庭児童会室の一部施設における老朽化対策は、喫緊の課題であるものと認識しております。</p> <p>今後の施設整備につきましては、留守家庭児童会室と放課後オープンスクエアを一体的に運営する中において、利用児童数の推移や学校の規模、学校施設の活用など各学校の実情を見極め、すべての子ども達が笑顔で健やかに過ごせるよう施設の在り方について検討してまいります。</p> <p>また、市立小・中学校における給食時間の会話については、「黙食」とする必要はないこと、手指衛生や座席配置の工夫、適切な換気の確保等の措置を講じた上で、児童生徒等の中で会話を行うことは可能とすることを、教育委員会より各学校に周知しております。</p> <p>しかしながら、感染状況等は各学校により異なることから、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、子ども達の状況に応じた感染予防策を各学校にて取り組んでいるところです。</p> <p>今後も、感染対策として画一的に捉えることなく、給食時間が楽しく子ども達にとって有意義なものとなるよう取り組んでまいります。</p>	2024/1/31	2024/2/27	放課後子ども課 おいしい給食課